



# やちだも

札幌市立琴似中央小学校

学校ホームページ <https://www.kotonichuo-e.sapporo-c.ed.jp>

学校便り  
最終号  
令和8年3月25日



## 「つながり ひびき合った」琴似中央小学校

～教育の成果を実感できたことに、心より感謝申し上げます～

校長 鳥丸 俊郎

3学期は、例年以上に降雪が多く、2回の臨時休校日の決断を余儀なくされるなど、北国札幌らしい天候への対応や感染症への対応が必要な日々が続きました。そんな中ではありましたが、皆様の御協力のおかげで、子どもたちとの教育活動を積み上げ、充実した日々を過ごすことができました。3学期始業式のときには、子どもたちに「いい姿を目指そう」と話をして、そのためには「考える」⇒「判断する」⇒「行動する」という過程が必要であることを説明しました。この目標に向かって、児童委員会の活動、学年の取組、学級の約束事など、様々な立場から学校の仲間として高め合うという「いい姿」の子どもたちに出会い、うれしくなりました。これは、今年度の重点として掲げた「つながり ひびき合う 琴似中央」に向けての確かな歩みの現れです。「その子らしさが発揮され、笑顔あふれる学校」は、子どもの健やかな成長を支えます。今年度の終わりを迎えるにあたって、教育の成果を実感することができ、本当に幸せです。

さて、一年間の学びを終えた子どもたちは、ほっと一息つくことができる春休みを迎えます。自分の成長をしっかりと振り返り、新たな学年に向けてのエネルギーを蓄えることができる期間となります。是非、新学期への期待を大いに膨らませてほしいと思います。

ただ、春の気配を感じることができるこの時期には、気を付けなければならないことも多々あります。例年、交通事故が起りやすくなってしまうこと、雪解け水により川が増水していること、不審者の出現情報が多くなってしまうこと、インターネットを使った誘惑や犯罪が増えることなど多岐に渡ります。保護者の皆様や、地域の皆様には、子どもたちが安全安心な毎日を過ごすことができるよう、温かな声掛けや見守り、励ましをいただければ大変ありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

去る3月23日には、84名の児童が本校を巣立っていきました。卒業生は中学校という新たなステージで、自分らしさを生かしながら、未来を切り拓いていくことと信じております。そして、見送った5年生は、卒業生からしっかりと琴似中央小学校の今後を託され、よさを受け継ぐ決意をもったことでしょう。来る令和8年度の子どもたちの活躍が待ち遠しくてたまりません。

3学期末は、教職員との別れの時期でもあります。今年度は、12名の教職員が琴似中央小学校を後にします。子どもたちと、そして保護者・地域の皆様と築いた経験を礎としながら、これからも様々な場で活躍をしてくれるはずです。

この一年間、本校への温かな御支援御協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

